



平成 27 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 アサヒグループホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 兼 CEO 泉谷 直木
(コード：2502、東証第 1 部)

問合せ先 広報部門ゼネラルマネジャー 爲定 一智
(TEL. 03-5608-5126)

会 社 名 アサヒビール株式会社
代表者名 代表取締役社長 小路 明善

アサヒビール株式会社による、エノテカ株式会社の株式取得（子会社化）に関するお知らせ

アサヒグループホールディングス株式会社の 100%子会社であるアサヒビール株式会社は、本日、ユニゾン・キャピタル株式会社がアドバイザーを務めるファンド等（以下、「ユニゾン・キャピタル等」といいます。）との間で、ユニゾン・キャピタル等が保有するエノテカ株式会社（以下、「エノテカ社」といいます。）の発行済株式の全部を取得する株式譲渡契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

1. 本件の概要

アサヒビール(株)が本日締結したエノテカ社株式の売買契約の概要は次のとおりです。

- (1) 契約締結日：2015 年 2 月 13 日
- (2) 契約当事者：(売主) ユニゾン・キャピタル 3 号投資事業組合、
Unison Capital III (F), L.P.、
Unison Capital III (A), L.P.、
Unison Capital III (B), L.P.、
H.C.B.C. Enterprises Limited、
廣瀬恭久氏
(買主) アサヒビール(株)
- (3) 取得対象の株式：エノテカ社の全発行済株式

2. 本件の目的

アサヒグループは、2020 年までの長期ビジョンにおいて、『食の感動（おいしさ・喜び・新しさ）を通じて、世界で信頼されるグループを目指す』ことを掲げ、これまで培った強みを基に、グループ間の連携や国内外のネットワークを活用することで更なる成長を目指しております。

近年、ワインは、家庭の食卓や外食シーンにて日常的に消費される酒類として定着し、国内消費量も増加傾向にあり、酒類市場における重要性が高まっております。当社においても、ワイン事業に注力しており、輸入ワインのラインアップの拡充や「サントネージュ」等の国産ワイン製造の取り組みを行っております。

一方、エノテカ社は、1988年の創業以来、『FOR All WINE LOVERS』の理念の下、ワイン商として、日本にワイン文化を根付かせることに貢献し、国内ワイン市場における高い認知度とブランド力を保有しています。また、エノテカ社では、数多くの有力ワイナリーのワインについて国内における独占販売を行っております。

エノテカ社とアサヒグループの協業により、エノテカ社がアサヒグループの事業基盤、経営基盤を活用することで、好調なワイン市場を背景に、更なる成長を早期に実現することが可能になると考えています。また、アサヒグループが保有するワインブランドや高級洋酒などを、エノテカ社で販売する可能性も検討しております。

現在、アサヒビール(株)のワイン事業の売上規模は約144億円(2014年12月期)となっています。エノテカ社の売上と合わせることで、グループとしてのワイン事業の売上規模およびワイン市場における存在感が大幅に高まります。今回、エノテカ社の全株式を取得することにより、『ワインのリーディングカンパニー』として、ワインの感動を更に広く、深くお客様にお伝えするとともに、酒類事業の更なる強化、拡大をエノテカ社と共に目指したいと考えております。

3. エノテカ社の概要

(1)	名 称	エノテカ株式会社	
(2)	所 在 地	東京都港区南麻布五丁目14番15号	
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 廣瀬 恭久	
(4)	事 業 内 容	ワインの輸入、及び、ワインの卸売販売、小売販売、インターネットでの通信販売	
(5)	資 本 金	1,661,666千円	
(6)	設 立 年 月 日	昭和63年8月31日	
(7)	大株主及び持株比率	ユニゾン・キャピタル3号投資事業組合 19.45% Unison Capital III(F), L.P. 24.70% Unison Capital III(A), L.P. 18.79% Unison Capital III(B), L.P. 15.27% H.C.B.C. Enterprises Limited 20.18% 廣瀬恭久 1.60%	
(8)	当社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。

	人 的 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。		
	取 引 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。		
(9) 当該会社の最近3年間の連結売上高(注1)				
	決算期	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期
	連 結 売 上 高	13,118百万円	14,400百万円	17,313百万円

(注1) 平成24年3月期は連結会計制度を導入していないため、単体での指標となります。

4. 株式取得の相手先の概要

(1) 名 称	ユニゾン・キャピタル3号投資事業組合
(2) 所 在 地	東京都千代田区紀尾井町4番1号

(1) 名 称	Unison Capital III(F), L.P.
(2) 所 在 地	c/o Deutsche Bank (Cayman) Limited 171 Elgin Avenue, Boundary Hall Cricket Square P.O. Box 1984 George Town Grand Cayman KY1-1104 Cayman Islands

(1) 名 称	Unison Capital III(A), L.P.
(2) 所 在 地	c/o Deutsche Bank (Cayman) Limited 171 Elgin Avenue, Boundary Hall Cricket Square P.O. Box 1984 George Town Grand Cayman KY1-1104 Cayman Islands

(1) 名 称	Unison Capital III(B), L.P.
(2) 所 在 地	c/o Deutsche Bank (Cayman) Limited 171 Elgin Avenue, Boundary Hall Cricket Square P.O. Box 1984 George Town Grand Cayman KY1-1104 Cayman Islands

(1) 名 称	H.C.B.C. Enterprises Limited
(2) 所 在 地	3 Broadcast Drive, Kowloon, Hong Kong SAR

(1) 氏 名	廣瀬 恭久
(2) 住 所	東京都港区

5. 今後のスケジュール

クロージングまでの今後のスケジュールの概要は次のとおりです。

2015年2月13日	ユニゾン・キャピタル等との間で株式売買契約を締結
2015年3月31日	売買実行のための先行条件充足を条件に、クロージング実行

6. 業績への影響

本件が、当社の2015年12月期の個別業績及び連結業績に与える影響は、軽微と見込んでおります。

以上